小6 社会 歴史 縄文～江戸 穴うめ（20問）　版K

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 縄目の文様がついた土器を（　　）という

(2) 前が四角く後ろが丸い形の大きな墓を（　　）という

(3) とれた米をたくわえるためにつくられた床の高い倉が（　　）だ

(4) 3世紀に邪馬台国を治めた女王は（　　）である

(5) 役人の心構えを示した17の条文のきまりを（　　）という

(6) 平安時代に『枕草子』を書いたのは（　　）である

(7) 人々のために橋や池をつくり、大仏づくりに協力した僧が（　　）だ

(8) 645年に蘇我氏をたおして始めた政治の改革を（　　）という

(9) 794年に京都につくられた都を（　　）という

(10) 唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを（　　）という

(11) 平安時代の貴族がくらした広いやしきのつくりを（　　）という

(12) 明で絵を学び、日本の各地で水墨画をえがいた僧は（　　）である

(13) 鎌倉時代に2度にわたって九州北部に攻めてきた国が（　　）である

(14) 頼朝の弟で、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼしたのは（　　）だ

(15) 全国の田畑を調べて、とれ高を記録させたことを（　　）という

(16) 1575年に大量の鉄砲を使って武田氏を破った戦いが（　　）だ

(17) 外国との行き来をきびしく制限した江戸幕府の政策を（　　）とよぶ

(18) 『古事記伝』を書いて国学を広めたのは（　　）である

(19) 人形浄瑠璃の脚本で町人のくらしをえがいたのは（　　）だ

(20) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだのが（　　）だ